

第66回愛媛県メディア教育研究大会 教育長あいさつ

令和7年10月15日（水）

愛媛県生涯学習センター

第66回愛媛県メディア教育研究大会の開会にあたり、御挨拶申し上げます。

本日お集まりの皆様方におかれましては、日頃より本県のメディア教育の振興・発展に御支援を賜っており、この場をお借りして厚くお礼を申し上げます。

さて、生成AIを始めとしたデジタル技術が飛躍的に進展する中、AIや教育データといったデジタル技術の利活用は、全ての児童生徒が個々の能力を最大限に発揮できる、より質の高い教育の実現を可能にするものであります。

このため県では、1人1台端末や高速通信ネットワークの更新等のハード整備に加え、EILSに、読解力アプリを導入し、個別最適な学びを推進できる体制を強化するとともに、教員によるICT活用指導力の向上に取り組んでおります。また、生成AIの導入により、ネットトラブルの疑似体験を通じて児童生徒の危機対処力を高め、情報リテラシーの向上を図るなど、ソフト面からもICT教育の質の向上に努めております。

更に、県民の生涯学習の裾野を広げ、生きがいを持って過ごせる社会を構築するため、デジタル技術を駆使し、県生涯学習センターが主催する講座のオンライン化や、県立図書館が所蔵する資料のデジタル化、県美術館等の教育文化施設における多様なコレクション情報にアクセスできる仕組みなど、施設に足を運ぶことなく学習に必要な情報を利活用できる環境の整備に、順次、取り組んでいるところです。

皆様方におかれましては、本日の研究大会を通して、今後のメディア教育の在り方について研鑽を深めていただき、学校や地域におけるICT

を活用した学習やメディア教育の振興・発展にお力添えいただきますようお願いいたします。

終わりに、愛媛県メディア教育協会のますますの御発展と、本日御参会の皆様方の御健勝、御活躍を心より祈念申し上げまして、御挨拶いたします。